



太陽光発電に特化した総合コンサルティング

株式会社 資源総合システム COMPANY PROFILE

会社概要

代表者:代表取締役 一木 修(いっき おさむ)

設立:昭和58年(1983年)3月

資本金:1000万円

主要取引銀行:三井住友銀行

主要取引先:・政府機関(省庁)・業界団体・地方自治体・研究機関・太陽電池メーカー

・原材料、部材、部品メーカー・周辺機器メーカー・製造装置メーカー

・システムインテグレーター・電力会社・住宅メーカー・ゼネコン・商社・金融・広告代理店

・EPC事業者・プロジェクト開発・発電事業者・新電力

会社名:株式会社資源総合システム

所在地:〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-19-2キューアス八丁堀 第一ビル4階

TEL:03-3551-6345

FAX:03-3553-8954

E-Mail:info@rts-pv.com

URL:<https://www.rts-pv.com/>



アクセス:

- 東京メトロ日比谷線「八丁堀」駅/A5b出口より徒歩・・・2分
- JR京葉線「八丁堀」駅/A3出口より徒歩・・・2分
- 東京駅より徒歩・・・15分
- バス 「東京駅」八重洲口(南口)より「深川車庫」「豊洲駅」「東京ビッグサイト」「住友ツインビル」行き(東15、東16系統)3つ目「亀島橋」下車徒歩・・・3分

株式会社資源総合システムは太陽光発電に特化した 総合コンサルティング企業です。

(PV: Photovoltaic)

国内外における太陽光発電に関する市場・技術・普及促進動向について、
調査・分析および事業支援サービスを提供します。

代表挨拶

資源総合システムは1983年の設立から、太陽光発電の技術開発・普及・事業化の各段階に対する支援業務に取り組んでまいりました。私たちには、長年にわたり太陽光発電分野に特化して培ってきた、重層的な経験や知見があります。その実績やノウハウを武器として、今後もより効果的な情報発信や提言を行うとともに、お客様のビジネス展開を全社一丸でサポートし、成果を生み出すためのコンサルティングをはじめとしたサービス提供を続けてまいります。そして、太陽光発電産業のさらなる発展・成長を支援することで、世界が持続可能な明日に向かう一助となるよう全力を尽くす所存です。

代表取締役 一木 修

沿革 HISTORY

- 1983年3月 ● 代表取締役 一木 修が株式会社資源総合システム 設立
- 2007年12月 ● 一木 修 代表が第17回太陽光発電国際会議 (PVSEC-17) 「特別賞 (PVSEC Special Award)」を受賞
- 2009年 ● NEDO「太陽光発電ロードマップ (PV 2030+)」作成の事務局を受託
- 2013年 ● 会社設立30周年 (現事務所へ移転)
- 2014年11月 ● 世界各国の太陽光発電専門家が集う「IEA PVPSタスク専門家会議及び WCPEC-6併催 IEA PVPSワークショップ」(京都開催)の運営事務局を担当
- 2017年10月 ● 山道 正明 シニアコンサルタントが国際電気標準会議 (IEC) の「IEC1906賞」を受賞
- 2017年11月 ● 貝塚 泉 首席研究員が第27回太陽光発電国際会議 (PVSEC-27) 「特別賞 (PVSEC Special Award)」を受賞
- 2018年2月 ● 「太陽光発電産業発展への提言 (PV150) エネルギー大転換時代の旗手『太陽光発電』 -2030年、国内150GWの導入を目指して-」を発表
- 2019年2月 ● 「2030年日本の太陽光発電導入量150GWを実現するための行動計画 (PV150行動計画)」を発表
- 2020年3月 ● 提言書「2030年国内150GW導入後も見据えた展開力強化の提言、太陽光社会到来に向けた2020年代の太陽光発電の発展～再生可能エネルギー立国を目指して～(PV150 展開力)」を発表
- 2021年6月 ● 一木 修 代表が光産業技術振興協会より「創立40周年記念功労者表彰」を受賞



コンサルタント紹介

CONSULTANT



いっき かずお
一木 修
代表取締役 首席研究員

太陽光発電分野専門のコンサルティング会社の代表として、1983年3月から各種調査及びコンサルティング業務に従事している。経済産業省及び新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)、光産業技術振興協会 (OITDA) をはじめ、各種の太陽光発電に関する委員会委員を歴任している。「継続は力なり」をモットーにして、太陽光発電の基幹電源化及び社会システムへの発展に全力投球している。



かいづか いずみ
貝塚 泉
首席研究員

太陽光発電の市場、政策、産業、ビジネスモデルの分析を専門としている。国際エネルギー機関・太陽光発電システム研究協力プログラム (IEA PVPS) における Strategic PV Analysis & Outreach 部会の副代表及び日本代表を務める。また JEMA 太陽光発電システム標準化総合委員会・委員長など、各種委員、国際会議における専門分野のチェアを歴任している。

事業内容

Business Contents

コンサルティング事業を柱とした
太陽光発電の可能性を広げる
5つの事業を展開しています。



個別調査・
レポート提供

専門性の高い 情報を提供

技術から市場までニーズに合わせた個別調査を行うほか、国内外の太陽光発電業界動向や関連施策等を網羅するテーマ別調査レポートを提供します。



コンサル
ティング事業

お客様にそった きめ細かなサービスを提供

国内外の太陽光発電ビジネス動向に関する定期情報の提供、特定テーマに関する事業支援 (太陽光発電に関する動向分析と討議) を行います。また、太陽光発電を用いた発電事業にあたり、各種のアドバイザー・サービス、コンサルティング・サービス等を提供します。



事業相談

お客様に 価値ある提案を

太陽光発電産業/周辺産業あるいは技術の状況など、太陽光発電に関する事業状況・事業環境について、弊社の専門家が対応します。



翻訳・
通訳サービス

幅広いケースに 対応します

ウェブサイト・プレスリリースなどの文書、太陽電池製品の製造・設置マニュアル、認証取得及び系統連系等に関する専門技術文書、政策・制度に関する文書等、多岐にわたって専門的な翻訳や通訳を行います。



講演

様々なニーズに お応えします

幹部会議から新人研修まで各クラスに対応した講演を行います。



おおし よしゆき
大橋 孝之
技監 上席研究員

蓄電池・パワーコンディショナに関する実務経験と深い知見を活かし、パワーコンディショナ等機器メーカー、EPC事業者、発電事業者向けの技術・事業戦略コンサルティングを行っている。技術士 (電気・電子部門)、第2種電気主任技術者、エネルギー管理士、1級電気工事施工管理士等の資格を保有している。



すぎぶち こういち
杉淵 康一
上席研究員

太陽電池セル・モジュールの製造プロセスから太陽光発電システムの設計・施工を経験した技術者として、研究・製品開発・製造・品質保証・設計施工・発電量評価・O&M・製造技術など幅広い分野のコンサルティング等を担当している。



くりはら りさ
栗原 理砂
上席研究員

シリコン原料から太陽電池モジュールまでの製造技術、市場、企業動向に関わる太陽電池バリューチェーンを中心とした調査分析を主導している。とくに太陽電池や材料の生産量見通しの分析が得意分野である。



みやざき きょうこ
宮崎 京子
主任研究員

英文月刊レポートの編集責任者。日本の太陽光発電動向を世界に向けて発信するとともに、海外企業の日本進出及び日本人におけるコミュニケーションも支援しており、技術文書からプレスリリースまで各種翻訳・通訳を実施している。



やまや はるき
山谷 東樹
主任研究員

太陽光発電の発電事業者を対象にした月刊レポート「PV発電事業最前線」の編集責任者。発電事業者やEPC事業者向けのコンサルティングを主導している。日本の政策、制度変更等の最新動向を調査・分析し、即時性の高い情報発信を行っている。



おかざき じゅんこ
岡崎 順子
主任研究員

中国をはじめとした海外の太陽光発電普及政策や産業動向等の調査・分析を担当している。太陽光発電のサプライチェーンに関する世界の最新動向を常に追いつけ、情報を提供している。